

11月 園児たちが動物とふれあう
中 動物ふれあい体験イベント



◀ヤギへの餌やり挑戦する園児

町内のこども園、幼保園、保育園に通う園児たちを対象に、スーパーサンシ(株)、(株)希望荘の協力のもと、動物ふれあい体験イベントを開催しました。園児たちは馬の見学をした後に、ヤギへの餌やり体験を行いました。最初は緊張していた園児たちも徐々に慣れて、最後には笑顔で動物たちとのふれあいを楽しんでいました。

11月 スマホの基本的な使い方を学ぶ
11日 スマホ教室を開催



◀講師に教えてもらいながらスマートフォンを操作する受講者

スマートフォンの基本的な操作を学ぶスマホ教室を役場本庁で開催しました。参加者は講師の解説を聞き、実際に操作をしながらインターネットの検索の仕方や、「おでかけこもの」の予約方法を学んでいました。スマホ教室は今後も各地区コミュニティセンターや公会所等で開催します(詳細は、広報こもの11月号P.20をご覧ください)。

10月~ 地域でつくりあげる秋祭り
11月 各地区ふれあいまつり



◀大勢の観客に見守られながら踊りを披露した竹永幼稚園の園児たち



◀朝上地区ふれあい文化おこしで輪投げを楽しむ子ども

小学校や各地区コミュニティセンターを主会場にして10月26日に竹永地区ふれあいまつり、11月9日に朝上地区ふれあい文化おこしを開催しました。各会場ではバザーや模擬店、キッチンカーなどが出店し、名産品や地元の食材などを求めて多くの人で賑わい、長い列ができていました。また、体験コーナーでは子ども連れを中心にワークショップでものづくりに取り組んだり、輪投げや紙飛行機を楽しむ姿が見られました。さらに吹奏楽やダンス、合唱、舞踊など趣向を凝らしたステージ発表が行われ、子どもから大人まで様々な演目が披露されました。コミュニティセンター内には地域の方が作った絵画、書道、俳句などの芸術作品が展示され、日頃の成果を発表する機会となっていました。



▲朝上地区ふれあい文化おこしでは、お米の食べ比べを実施

11月 郷土の偉人の塗り絵を通して町の歴史を知る
8日 八重姫塗り絵コンテスト



◀賞状を手に持ち写る子どもたち

社会福祉法人日の本福祉会主催で、町の偉人である八重姫を題材にした塗り絵コンテストの表彰式をイオンタウン菰野で開催しました。表彰式には応募総数174件の中から選ばれた入賞者12名のうち8名が出席し、西崎紀行統括所長より賞状を受け取りました。



▶最優秀賞に選ばれた2作品

11月 11月9日から15日は秋の火災予防週間
9日 特別消防訓練を実施



◀一斉放水の様子

独立行政法人水資源機構三重用水菰野調整池で特別消防訓練を実施しました。消防署と消防団の技術向上および連携活動能力の向上を図ることを目的とし、総勢約140名が参加しました。今回の訓練はたき火が延焼し林野火災が発生したという想定で実施され、通報訓練とジェットシューター取り扱い訓練の後、消防署職員と消防団員による一斉放水が行われました。

秋の叙勲



旭日小綬章
たち 直人さん
(潤田区 70 歳)

館さんは約29年間、菰野町職員として勤務された後、三重県議会議員を5期務められ、湯の山かもしか大橋の開通にもご尽力されました。受章に際し、「支援者の方はもちろん、多くの方からの支えに深く感謝しています」と話されました。



旭日双光章
まつむらたけし
松村武彦さん
(潤田区 85 歳)

松村さんは永年にわたり自動車販売事業の振興に努め、平成29年から6年間、三重県軽自動車協会の会長も務められました。受章に際し「深く感激しました。皆様のお支えがあればこそだと感謝申し上げます」と話されました。



瑞宝双光章
やまね たかし
山根 隆さん
(菰野第三区 83 歳)

山根さんは歯科医として働きながら、永年にわたり学校歯科医として地域の児童・生徒の健康増進に携わっておられます。受章に際し、「周りの皆様の支えがあったからこそと有難く感じております」と話されました。



瑞宝単光章
うめだ かずひろ
梅田和弘さん
(菰野第二区 64 歳)

梅田さんは建築大工として働きながら、平成10年から四日市建設高等職業訓練校で木造建築科の指導員を務められています。受章に際し、「今まで続けてこられたのは、周囲の方々からの支えがあったからです」と話されました。